

# 剣の合わせ法

## 剣合わせ一（1）

相手が打ち込んだ場合、右に体を開き下まで切りおろす。  
その時右半身で裏三角形となるように左足を右足の後ろに移動する。

## 剣合わせ一（2）

突きをかわせる程度に腰をひねること。  
相手が突いてきた場合、大上段に振りかぶりながら右足を後ろに引き突きをかわし右足を踏み込んで面を打つ。

## 剣合わせ一（3）

打ち込まれば逆らわずに体を開き（又は入る、突き等）相手が振りかぶればその氣に合わせて入るのである。  
太刀取りの秘伝、或いは音無しの剣の基礎である。

## 剣合わせ一（4）

面打ちを払われた場合、払った力を流して突く。

## 剣合わせ一（5）

打ち込みを左にかわし、再度振りかぶる相手の小手の動き合わせる、

## 剣合わせ一（6）

相手の動きに全く合わせる。（氣結びの太刀）

## 剣合わせ一（7）

振りかぶる相手の両腕を下から制し、体を開きつつ後方に入って切る。

# 入身法

入身とは一対一と思いがちであるが、合氣道の入身は多人数攻撃の輪から抜け出る秘法である。（別名山彦の道と言う）  
此方が氣を発すれば山彦の如く敵の氣が帰ってくる。  
然し、その時には此方には相手の後ろに立って居るのである。

◎（入身は一重身が基本である。入身一足）

（開祖口伝）太刀ふるい 前にあるかと襲い来る  
敵の後に我は立ちけり

（開祖口伝）敵多勢我をかこみて 攻むるとも  
一人の敵と 思いたたかえ